

いたびじぞうちょうこく 板碑地蔵彫刻

●所在地／中山町中山永木

●所有者／永木地区保存団体

総高 190cm、幅 150cm の安山岩あんざんがんに地蔵菩薩ぼさつを刻んでいる。永木地区の奥山採石場（永木石）へ行く通称駄場だばの地（現在は採石場まで道路が開通している）に明治 21 年（1888）地元の人々によって建立こんりゅうされたものである。

これは江戸・明治の時代、双海町上灘ふたみ かみなだの港が栄えていた頃、永木方面の農林産物の運搬は人馬の力で、この永木上灘往還道おうかんどうを利用していた。曲りくねった鳥越峠とりごえ、谷を越えての運搬は大変危険で災難・災害を避けたいと願って建てたと伝えられている。

昔は通行人の安全安泰あんたいを願って毎年 4 月 24 日と 8 月 24 日を縁日と定め、祭りがされていた。

